

中野区立桃園第二小学校 同窓会通信

—第17号—



開校100周年までいよいよ、あと二年!!
同窓会会長 矢島寛典(三七期)

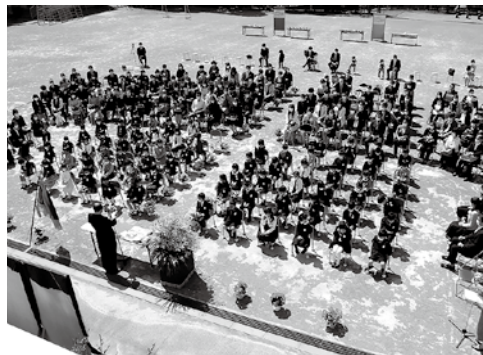
令和2年号となる「同窓会通信第17号」の発行に当たり、先ずは皆様からの平素の同窓会に対する暖かいご支援に心より感謝申し上げます。

母校は本年、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、3密禁止に則り、残念ながらご来賓はご遠慮いただいたり、会場を講堂から校庭に変更したり、出席者同士の間隔を前後左右、大きくしたりして卒業式ならびに入学式を挙行いたしました。そのような異例な式ではありましたが73名の児童が元気に巣立ち、又、69名の可愛い後輩が入学して、開校100周年記念までいよいよあと一年の令和2年度

がスタート致しました。



▲99周年を迎えた母校



▲令和2年の入学式

今日時点では緊急事態宣言は解除されておらず、昨年号でご紹介させていただいた100周年に向けた諸記念行事準備に遅滞が生じている状況ではありますが、本号に同封の「100周年記念事業」実現に向けて鋭意努力してまいりますのでご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。昨年度もお力添えいただきありがとうございます。本年も引き続き記念事業成功のために協賛金をお寄せくださるよう宜しくお願い申し上げます。

又、大正6年に桃園尋常高等小学校の分教場として開場し、大正10年に東京府豊多摩郡中野町立桃園第二尋常小学校として開校して100年!この大変目出度い佳節を一人でも多くの同窓生とお祝いをしたい為、本号では皆様へ同窓会名簿に登録されていない同級生のご紹介のお願いをしております。又、記念事業の一つである「百年誌」の充実のために桃二小にまつわる思い出の原稿募集もしておりますのでご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

最後にありますが未だ終息を見ぬ恐ろしい新型コロナウイルス感染症にかかわらないよう過ぎざれ、元気で共に明年、100周年をお祝い出来ますようお祈り申し上げます。



桃二小百周年を祝う会より

祝う会事務局長

荻野嘉彦(元PTA会長)

桃二小同窓会の皆様におかれましては、「百周年を祝う会」へのご理解ご協力を賜り、感謝申し上げます。

祝う会事務局長の荻野と申します。昭和44年生まれ、宝仙学園小学校出身です。ということと同窓生ではありませんが、桃二小は子供二人が卒業し、PTA会長を二年間務めた関係で、また住まいのある文園町会はじめ地域の皆様にお世話になっていることもあり、事務局長の大役を任せております。

これまでご案内の通り来年令和3年度に桃園第二小学校が開校100周年を迎えるにあたり、祝う会で

は同窓会矢島会長をトップに、学校と保護者、地域の皆様とともに話合を持ち、各種事業を計画しています。
現在考えている事業内容を紹介いたしますと、100年誌の編集発行・記念行事の挙行・地域行事開催・記念品を学校への贈呈などがあります。

上記事業の実施のため、グッズの企画販売や皆様からの寄付、現役PTA会員の協力にバザー等を行い、資金の造成を行います。また、機運醸成と情報発信のためのホームページ構築など、広報活動も行います。

コロナ禍の情勢下、なかなか本事業のようなお目出度い話題は憚られるとは存じますが、これまでの先達の積み積み上げたものに光を当て、桃園第二小学校での学び、それにまつわる児童・家庭・地域の繋がりはこれからの百年も続きますので、同窓会の皆様にはこの機会に桃二小の来し方行く末に思いをいたし、100周年を祝う会の活動を応援して下さい幸いです。

同窓会総会開催のご案内

- 日時 令和二年七月十九日(日) 午前十時三十分開会 十二時終了予定
- 会場 桃園第二小学校体育館棟一階 会議室
- 議題 会計報告・新役員紹介・百周年行事他多数のご出席をお待ち申し上げます。

お願い!!

同窓会への諸連絡は同封の連絡用紙をお使い下さい。電話による連絡はご遠慮下さい。



忘れ得ぬ桃二

岩田輝二(三期)

昭和十四年、桃園第二小学校に学区外入学しました。大正生まれの姉(黄綬褒章授賞)共兄弟六名が御世話になりました。二年生の時に国民学校となり、軍国主義的教育に変貌しつつの時でした。先生方は教育の大変革に依り、「忠孝」の二文字を中心に、指導内容等々に尽力されたことは、感謝に堪えません。教材も再編され、運動会などは棒倒しとか、騎馬戦と云った闘争心を叩るものや、体育では、一部、武道も取り入れられ、昭和十六年十二月八日には大東亜戦争が勃発し、大戦果が報道され、旗行列や提灯行列に酔ったものですが、戦雲は我に味方せず、次第に劣勢に陥り、北方のアツツ・キスカ島・南のサイパン島の玉砕と、本土決戦迄、追い込まれる惨状でした。



▲疎開先での授業

で機銃掃射が主でした。姿を見せぬ様、塀の影や木立の下を、爆音と上空を見たら、走り抜けるのですが、下級生は、半べそで付いてくるのを家送り届けて帰宅した時は、ホッとしたものです。授業は殆ど半日でした。私の家は学区外で離れているので大変でした。土曜日の午後は戦没者の慰霊祭が講堂で度々行われたり、楽しみの映画会では、無声映画では、郷先生の名辯士振りは忘れることの出来ない思い出です。

歳を越して六年生は中学進学の為、三月に帰郷しました。間もなく三月十日の大空襲で下町は殆ど焼滅し、家族は防空壕に入らないので、私だけ一人入りガタガタ震えて居りました。爆弾の地響き、一晩中空は赤く、空中戦が続いた夜でした。次に五月二十五日の空襲で罹災し、一晩中、爆弾の下を逃げ廻り、焼け残りの桃二小に朝方辿り着いた処、教室に入れず、廊下で仮眠し、焼け跡の家に戻り数日後、登校すると教室に、「卒業式は連絡する迄待て」とのことでした。其のまま中学に入学したので、卒業証書は二拾年後位経って送付して貰いました。次に妹は疎開先が会津の方へ移動と云うので、母と姉で縁故疎開に切り替え、連れ戻しました。

その後、杉並に引越し、十年間JRで車窓から眺めると、何時も乍らの、校歌の一節の「力は強くこもるなり」と無言で励まして呉れた事や、あの木造の校舎が浮かびます。七〇年の式典で参列する為ホームに降りると、桃二の校歌が、アナウンスされていました。この度は百周年を迎えるに当たり、我が学び舎に、栄えあれと願いつつ◇◇◇



なつかしい思い出

田中洋子(三期・旧姓・小池)

私は幼稚園の年長組の夏まで、文京区窪町(現茗荷谷)で育ち、近くには教育大学(現筑波大学)、お茶の水大学、拓殖大学などの学園都市から昭和二十三年に中野へ引越してきました。その頃は周辺に家も少なく、家から電車が丸見えでその環境の違いに子ども心に戸惑ったのを今でも覚えています。ただすぐ近くに桃園第二小学校があり、翌年の四月より一年生として入学しました。当時はひとクラス五十四〜五名で、五クラスもありました。あまりにも大勢でみんなはどこに住んでいるのか不思議に思った程でした。

いる私を見られて、又恥ずかしかった事を今でも鮮明に残っている思い出のひとつです。その後お友達もたくさんでき楽しくなってきた頃に、児童数が増加した事で、昭和二十六年四月、昭和小学校(現白桜小学校)が創立され、仲良しのお友達と別れるという悲しい思い出もありました。

また冬の大雪で電車が止まった時には、線路にスキーを持つてきて遊ぶ人がいたり、その当時は、電車も減多に通らないので、線路を渡って向こう側のお友達の所へ遊びに行き来したものです。今では想像もつかない光景でした。今回原稿を書くに当たり、改めていろいろ思い出しますと、その当時いつも側に地域の大人の方が、あたゝかく見守ってくださり、叱られたり、誉められたり大変お世話になりました。

私の二人の娘も、桃園第二小学校で、この地域で多くの方々に育てていただきました。

桃園第二小学校との縁は、四十数年前のPTAからはじまり、文園子どもと共に進む会、文園町会、昭和地区委員会、中野区青少年委員会、民生児童委員会(主任児童委員)も含め、子ども達との関わりの中で、歴代の校長先生はじめ諸先生方より、多くの事を学ばせていただき大変感謝しております。

今迄多くの方々から頂いたごまましたご恩に少しでもお返し出来たらとの思いで、現在も日々過ごしております。

桃園第二小学校のこれまで培ってきた良い伝統を引き続き、益々の発展を同窓生のひとりとして心よりお祈り致しております。



「桃二の思い出」のカケラたち

鈴木英之(四七期)

父や伯母・叔父が通った桃二小学校(当時は中野町立尋常小学校だったそう)に私が入学したのは昭和38年4月のこと。

ほんの数メートル桃二の学区から離れていたために、打越にある祖父の家に住民票を移し、越境してまで桃二入ったのは、父のみならず親族の強い想いがあつたからだろう。

そんなことは知らず、毎日新築なつたばかりの校舎がある桃二に元気に通っていた私は、不思議なことに小学校時代の出来事で覚えていないことが少ない。覚えていても書けることは少ない。それでも覚えていることを、あるいは覚えていないことを、あるいは覚えていないことを

含めて書いてみることにしたい。担任の先生のこと。一年から三年までクラス替えというものがなく、ずっと同じ先生だったこと。

当時元氣過ぎる児童だった私は、ずいぶんこのお婆あちゃん先生の手を焼かせたようだ。

初めてクラス替えになった四年の時には、若い女先生のおめでたにより二学期途中から臨時雇いの先生に交代になったこと。五年六年時はまたクラス替えがなく、二年間は藤田先生だったこと。母親に言わせるとこの先生が元氣過ぎた私のことを一番理解してくれたのだそうだ。

すでに鬼籍に入られた方もいそうではあるけれど、できるものならまたお会いしたいものだと思う。

入学時から数年間はプールがなかった。正確に言うとうと15メートルほどの古いプールがあつたものの、実習用の田んぼとして使われており、プールの授業は近くの谷戸小学校まで歩いて通つたのを覚えていて。新しいプールが出来たときは、とにかく嬉しかった。



▲プールではしゃぐ子供達

昭和39年の東京オリンピック。裸足の王者アベベ、黒い弾丸ヘイズ。実際に旧国立競技場を見たことがあるわけではないが、翌年生徒全員で公開された市川崑監督の公式記録映画を観にいったことが思い出される。果たしてあれは当時の中野公会堂(現ゼロホール)だったか、中野駅南口にあった映画館だったか。

ビートルズが来日したのが四年生の時のこと。ちよつとした狂騒曲状態だった。やれ長髪は男らしくないの不潔だの。そしてこの風潮を受けてか、ちよつどこの頃、道徳?の時間に先生の発議で男の長髪は是非かみみたいな討論風授業があつた。そのせいで余計に強く印象に残っている。

今思えばあの程度のマッシュルームカットで長髪云々は笑止というところだろうが。

箱根仙石原への移動教室で何かを発表したこと。下田?への臨海学校、国会議事堂等への社会科見学など。なんとなく覚えているのは写真が残っているイベントだけ。今のようには写真(カメラ)というものが手軽でなく、むしろ高価なものだった時代でもあり驚くほど画像が少ないのが我々の時代だろうか。正にとりとめもなく書いてしまった。現在、ずっと同じ場所に住んで

いながら、当時の同級生とは全く交流がなくなってしまう。その殆どは中野におらず、いたとしても遭遇する機会さえもなくなってしまう。

この寄稿がきっかけでだれかと再び繋がる事が出来たら嬉しいことだ。



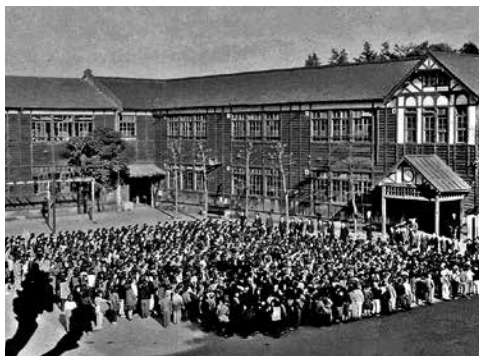
桃二は中野の学習院!?

伊藤陽子(三六期・旧姓・松島)

大正三年生まれの母は桃二の第三回卒業生であつた。私の兄妹四人、私の子供三人も共に桃二の卒業生である。もし孫が桃二に入学すれば四代目誕生...と密かに期待していたのだが残念ながらそれは実現しなかつた。

私が入学したのは昭和二十七年。一年五組だった。二階建てコの字型の茶色い木造校舎。中央に昇降口、その上の方には校章を型取った大きな時計が時を刻んでいた。昇降口の前には大きな朝礼台があり、毎朝その前に全校生徒が整列し校長先生の訓話の後、号令一下ラジ体操をした。早生まれでひ弱、集団生活も初めての私は多分、こわごわオドオドしながら

通学したのだろうと思う。二部授業が行われていて一、二年生が午前午後と交代で登校した。道を挟んだ西側に新校舎が出来るまでの二年間程それは続いた。



▲校長先生の訓話を聞く生徒達

給食の世話も母親たちが交代で二、三人来ては大きなバケツみたいなものを抱えて子供達の皿に盛りつけて回つた。好き嫌いが多く食も細かつた私は母が当番に来た時は「もつと少なくて入れて」とコッソリと頼んだ。苦手だった脱脂粉乳、コッペパン、チャップ水...戦後の復興もまだまだ追いつかない頃の遠い思い出である。カワイの肝油ドロップもあつたっけ。当時、桃二の正門を出た右手にニワトリ堂という古めかしい文具店があつた。そのオジサンは痩せて物静かで細長い首の上に髪が少ない小ぶりの頭が載つていてまるで鶏の様で(失礼!)だからニワトリ堂なんだ...と子供心に妙に

納得した覚えがある。教科書はそこで買う決まりになっていた。程なくして反対側の左手に鈴木文具店が店を開いた。そのオジサンは恰幅がよく声も大きく朗らかで店内も明るく子供達の欲しそうな絵の付いた消しゴムやカラフルな文具が沢山並べてあつて人気は断然こちら側だった。

二年生になった時、担任の先生が替わった。新卒で桃二小に赴任となり私達を受け持つことになったのだがこれがかんりのイケメンしかも熱血。二年生の子供を持つ若いママ達はかなりザワついたらしい。学級運営にも協力を惜しまず遠足の付き添いにも率先して：

だからお母さん達がやたらと多かつたのか：とこれは後に大人になつてから理解した事。だがその熱血が私に少々辛かつた。宿題をサボつた時は漢字百回書きの罰を課せられた。体育が苦手で逆上がりも雲梯も上手く出来なかつた私は用務員さんの鳴らす鐘が休み時間を告げ生徒達がわらわらと校庭に飛び出し賑やかな声が響いても私同様の二、三の女子と共にそこに残され叱咤激励のもと何度も何度もトライさせられたのだった。共にシンドかつた思い出である。

時が経ち六年間一緒に過ごし、担任もずっと変わらなかつた五組の初めてのクラス会が持たれたのは私達が三十歳を過ぎたころだつ

た。他校に転任されておられた先生もご出席下さりその折に話されたのがこんな事だった。「桃園第二小は区のモデル校。知育徳育共に高水準の言わば中野の学習院と云つた品格ある小学校である。それを踏まえ心して勤めるように：そう云われて先生も緊張して担任になつたんだぞ」と。なるほど桃二の生徒はお行儀が良いと言われている原点はここにあつたのか：なんだかとても誇らしい気持ちだし、先生のその言葉がキラキラと私の心に残つた。

その中野の学習院(?)も来年には創立百周年を迎える。子供の数が激減し区立や都立の小中高の統廃合が余儀なくされている今、より品格を高めより誇り高く、私達の桃園第二小学校の名が永遠に残されていく事を切に願う。

思い出と向き合う

長谷部智太郎(八二期)



私は2004年に卒業した第82期生です。過去の同窓会報を見る限りこうした場にコメントするには未熟ではありますが、この度縁あつて寄稿させていただく運びとなりました。

私は仕事の関係上、日頃から人よりも多く文章を書いている自負がありまして、今回の原稿もそんなに苦勞するものではないだろうと高を括つていました。ですがこれは大誤算で、実際には遅々として進まず、締め切りだけが刻々と迫るなか、原稿のことを考えれば頭の中で校歌と桃二音頭(運動会でする最悪の事態に陥りました。なぜこうも思い悩むのか連日考えました。私の学年は約60名でしたが、中学校受験をした友人が体感的には1/3ぐらいで、それ以外の多くは同じ公立中学校に進学しました。今でも中学校のちよつとした同窓会などがあれば小学校の友人とも顔を合ませますし、私

が今も中野に住んでいて地元付近なこともあり、当時の友人や個別のエピソードは取り留めもなく浮かんできます。決して覚えていないわけではないのです。しかし、この取り留めもないエピソードが1つ1つ本当にどうしようもない。入学して間もない頃、給食のときに近くの席の友人が牛乳瓶にパンをまるまる1個詰め込んで担任の先生に烈火のごとく叱られていたこと。付録か何かで手に入れたインクが消えるペンで連絡帳にしこたま落書きをしたと紙面上で抹殺されるほどに叱ら

れたこと。高学年の頃は何か毎日ダブルのライダースジャケットで通うという多分な迷走がみられたこと。その反面、私の世代の目玉イベントである開校80周年は航空写真と紅白饅頭で通り過ぎており、肝心な材料が全く無いので、これが私の筆が動かない根本



▲開校80周年の航空写真

的な理由だとようやく気付きました。

筆が動かないままではまずいと久しぶりに卒業アルバムを開いてみると、小学校生活6年間のうち4年間担任として面倒を見てくださった先生の姿がありました。いつも物事の筋が通つていて厳しくも優しい印象の先生です。1, 2年生の頃にお世話になり、5, 6年生で再び担任となつたときは再会に湧きたつたのを覚えていま

す。

それと同時に、私が先生から口酸っぱく言われていた言葉が思い出されました。あなたは詰めが甘い、それで損をする。思えば、そんなに言うのかと思うほど言われ続けていました。しかしこれは自分にとつてはとても的を射ている指摘で、今に至るまで詰め甘さは長らく嫌というほど自覚しており、仕事など実生活の上で強迫観念のように気を付けていることなのです。今や当たり前のよう意識していましたが18年前から度々教えられてきた背景があつてこそで、改めて感謝の念を強く抱くと共に身の引き締まる思いです。

お読みいただいている皆様は、ご自身の恩師について振り返られる機会などありますでしょうか。同窓会報等を通じて母校を振り返ることが、大切な恩師に思いを馳せることの契機になれば幸いです。

桃二小学校の思い出

小川智子(五〇期・旧姓・曾根)



今、世の中は毎日、新型コロナウイルスの感染者数、死者数のニュースで持ちきりです。私が住んでい

る姫路でも、のどかな風景とは裏腹に、あちこちで新たな感染者のクラスター（集団）が発生し、皆、怯えています。つい先日、同年代の岡江久美子さんが亡くなったニュースには本当に驚かされました。

私は去年、還暦を迎え、職場の薬局で赤いちゃんちゃんこを着せられ祝って貰いました。六〇年生きて、還暦で再び〇才になり、新たな人生をスタートさせるのだから、小学校時代を振り返るには絶好の機会です。

目を閉じると、桃二小の正門前にあった小さな文房具屋さん（二歳下の弟が鈴木堂とニワトリ堂だと教えてくれました）、校庭に四角く線を引いて遊んだ元大中小（そんな名前だったと思いません）、休み時間が終わって屋上のドアでひしめき合ったこと、ピツと笛を鳴らして横断歩道を渡らせてくれた「緑のおばさん」、天神様、早稲田通り、担任の先生、校舎の窓から熱く見つめた初恋の男の子、次々と懐かしい場面が蘇ってきました。卒業式の日、正門の坂を下りながら号泣しました。

そして20代後半、中野にあった実家が倒産し、夜逃げ同然に中野を後にした時は、もう小学校時代の同級生達には二度と会えないのでは、と思いました。今は、一人一人たまたまなく会いたいです。ど

んな人生を歩み、何処で還暦を迎えているのでしょうか。

その後、青年海外協力隊でアフリカに渡り、帰国後すぐに結婚し、姫路に嫁いで今年で29年になります。

実家は無くなってしまいました。弟が中野に居を構えてくれたので、年に一回は中野の町を歩けることに感謝しています。それにしても中野は変わりましたね。子どもの頃、雪合戦をして遊んだ家の前の空地はピツシリと居酒屋が立ち並び、テレビで紹介されるような料理店も沢山あるのですね。以前は電車の窓から桃二小がよく見えたのに、なかなか見つけられなくなりました。

今年にはコロナの影響で、東京に行けそうにありませんが、次回は是非、桃二小学校を訪れたいです。きつと、暖かく私を迎えてくれると信じています。

今回、このような機会を与えて頂き、心楽しいタイムトラベルが出来たことに感謝感謝です。どうもありがとうございました。



▲賑やかな中野駅北口の商店街



桃二小と中野の思い出
門田 真弥(六四期)



▲西側校舎での入学式受付

私が入学したのは昭和55年4月、西暦で言えば1980年の事である。ちょうど入学してから丸40年が経ったのだとこれを書いていて気付いた。当時私は学校のすぐ近くの社宅に住んでおり、また4学年上の姉が通っていた事から入学前から桃二には馴染みがあった。入学前の桃二は確か校庭がコンクリート？の時代があり、私の入学する数年前に土の校庭に変える工事があり、不発弾が発掘されたエピソードが強烈に印象に残っている。

さて、晴れて入学式を迎えクラス発表があったのだが、自分のクラスは1年「5組」であった。姉からの情報や熱中時代などのドラマのイメージから1学年は4クラス、イメージが強かったので、また、1桁の数字で唯一濁音の「5」って…と、響きが冴えないクラスに入っちゃったなあというのが入学時の第一印象である。当時、桃二はメインの中央校舎と道路を挟んだ体育館とプールのある西校舎に分かれており、1、2年生の教室は西校舎であった。



▲写真左が西校舎

そういえば、桃二の七不思議という伝説があつて、例えば体育館の13段目には死体が埋まっただけで踏んではいけないのだの、音楽室のペーパートベンのデスマスクを指差すと呪われるのだの、誰が言い始めたのか小学生が好きそうなオカル

ト的な言い伝えもあり、体育館への移動時には13段目をあえて飛ばしていたものだった。

放課後の遊び場といえば、低学年の頃はタイコウ堂で駄菓子を買いつつ天神公園で遊ぶというのが定番であったが、中高学年になると中野ブロードウェイ周辺というのが定番であった。地下の「やよい」の特大ソフトクリームで手渡してもらおう時に落とすという洗礼を受けたり、有名になる前の「まんだらけ」で立ち読みをしていて店長の時だけ叱られたり、サンプラザの噴水の斜めのフチを滑らないように歩いたり、中野のど真ん中が学区域だけあつて、都会っ子らしいなと改めて思う。

あれから40年、昭和から平成、今や令和と時代も移り変わり、私自身ももう中野から離れて15年ほど経った。たまに中野に行く事があるが、私が当時住んでいた社宅は既に別のマンションに建て替わっており、周辺の建物や学校も統廃合が進む中で桃二だけは変わらず存在しているのが卒業生としては何とも嬉しい。校庭のアスレチックや藤棚が無くなつてたりとさすがにマイナーチェンジしている部分もあるが、あの頃の雰囲気を残しつつ、今後も存在し続けてほしいと切に願う。



協賛金をお寄せいただいた
方々のご芳名一覧

協賛金をお寄せいただいた方々のご芳名一覧


◎協賛金は以上、138名の皆様からいただきました。厚く御礼を申し上げます。

◎訃報
以下の方々が逝去されました。長きにわたる協賛金などのご支援に感謝申し上げますと共に故人のご冥福をお祈り申し上げます。

母校・桃二小情報

◎教職員の異動（敬称略）
棚橋正太(教諭) 転出
生駒将平(教諭) 転出
重原由紀(教諭) 転出
小松昂正(教諭) 転出
藤村美幸(教諭) 転出
榎園修一(事務主事) 転出
相澤紀子(時間講師) 転出
モナラジャビ(ATI) 退職
川畑伊豆海(副校長) 転出

お世話になりました
川畑 伊豆海



四月一日付けで八丈島八丈町大賀郷(おおかごう)小学校長を拝命しました。桃園第二小学校に在任させていただきました平成二十九年からの三年間、大変お世話になりました。中野区に住みながら区内の小学校で十八年間務めることができた。二人の子を育てながら教員を続けられたこと、自身を成長させるチャンスを与えて下さったこと心から感謝しております。中野区を離れることになり、寂しい思いです。この三年間、同窓会や地域の皆様にお力を出して下さる桃園第二小

学校で勤務できましたことは、私の人生の宝物です。

桃二は、学校・保護者・同窓会・地域が連携し、子供たちを育むことができる理想的な環境であったと、改めて感じます。お会いすることが難しくなりましたが、桃二での経験を生かし、地域に根差し地域に愛される学校づくりをしていきたいと思っております。

皆様のご健康とご活躍、同窓会の末永いご発展をお祈りしております。そして、新型コロナウイルスとの戦いが一刻でも早く収束し、子供たちの笑顔が学校に戻ってくることを願ひ、海の向こう八丈島で尽力してまいります。

最後になりましたが、令和三年度の桃園第二小学校百周年が盛会になりますことを心より祈願しております。

ありがとうございました。

Table with multiple columns and rows, likely a list of names or details related to the school information.

【発行人】矢島 寛典(三七期)
・編集担当
武田尚夫(三六期)
石原宏祐(三七期)
吉田康一郎(五八期)
・同窓会事務局
〒一六四一〇〇〇一
東京都中野区中野六一三三一一
中野区立桃園第二小学校内
電話 〇三(三三六三)〇六六一
FAX 〇三(三三六三)〇六六二
◎電話FAX共に桃園第二小学校
教員室用です。同窓会へのご連絡は書面で
お寄せ下さい。

表題の揮毫は、中部日本書道会評議員、尚和会常任理事上田青畦(せいけい)氏。本名
上田利江子さん(三三期)

- 焙りたての薫り豊かなコーヒーを店頭販売しております。
- 業務用、オフィス、御家庭にお届け致しております。ご相談下さい。



〒165-0026 中野区新井1-2-27
 TEL 3387-1151(代)
 FAX 3228-1151
イイコーヒー

下記の同窓生並びにその関係者の企業、商店、事務所から広告掲載のご協力を賜りました。日頃の同窓会活動のみならず、周年行事開催に向けて大変有難いものと感謝申し上げます。



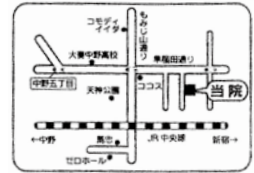
整形外科

リハビリテーション科

石坂整形外科

整形外科専門医、スポーツ、リウマチ認定医 医学博士 石坂 公人(40期)

診療時間
 平日 午後 9:00~12:00
 午後 2:00~6:00
 木・土曜日 午後 9:00~12:00
 休診日 日・祭日



中野区中野6-30-14

☎(3361)3522

本郷も赤門背にして
 ウォークすれば
 人々助けし順天堂
 憧れ 湯島のラブホ
 見上げつつ
 妻を恋して坂下る
 遙かに望む国技館
 明神下は五軒町
 そちらで習いし天ぷらと
 天職なのかと
 生きている
 天ぷら
 きよし

小沢 登志(39期)
 高橋(小沢)庸子(60期)



院長 熊埜御堂 隆(55期)

〒164-0001 東京都中野区中野5-18-9
 TEL 03-3388-5395 FAX 03-3388-6070



熊埜御堂耳鼻咽喉科

中野区上高田2-1-3 HNB 1階 03-5345-6201
 院長：熊埜御堂 浩 58期

中野生まれ・中野育ち
 桃二小学校卒業
 不動産の事なら何でも
 お気軽にご相談ください!!



株式会社グッドライフ
 東京都知事(中)第98181号
 代表取締役 高須 英和
 〒164-0001
 東京都中野区中野5-21-18 クロス・スクエア NAKANO 1002号
 TEL.03-5343-7960 FAX.03-5343-7961
 E-mail:h-takasu@goodlife-rec.com

高須英和(71期)

創業昭和三年

お茶とのり・椎茸 狭山園

〒165-0026 東京都中野区新井1-2-11
 TEL (03) 3387-1637
 3386-4180
 FAX (03) 3387-4116

林キヌ(18期)・千佳代(47期)・延幸(51期)

ほぜんじ
 曹洞宗 保善寺 獅子寺
 学校法人 保善寺学園
 ほぜんじ幼稚園

- ★対象児：満3歳児～5歳児
- ★預かり保育(パンダ組)：保育終了～17時30分
- ★未就園幼児保育(たまご組)：午前中・未就園幼児が親子で先生と遊ぶ

心身ともに健康で、伸び伸びとした知的な子供に育てる
生命尊重の保育を推進

〒164-0002 東京都中野区上高田1丁目31番2号
 電話 03(3371)6840・(3364)3381 /FAX 03(3364)2858
 園長 上村雄法(80期)

中野駅北口 徒歩1分

清水宏之(52期)



内科 胃腸科 外科

サンモールクリニック

〒164-0001 中野区中野5-65-12 TEL (03) 5345-5767

痛いところ
 苦しいところに
 手をあてて
 念じます
 南無観世音

身がわり観世音

中野六丁目 桃二歩道橋 **天徳院**
 大藪正哉(22期)

中野北口昭和新道商店街
パニパニ

代表 長谷部 智明 (52期)

〒164-0001
 東京都中野区中野 5-49-3
 TEL 03-3389-3883

焼きたて餃子
 立ち飲み
 Pani Pani

フジヤカメラ

1階 03-3388-0848 2階 03-3388-1586

営業時間 10:00~20:30

高額買取

大月浩司郎 (37期)

www.fujiya-camera.co.jp

古澤法律事務所
 弁護士 古澤昌彦 (52期)

* 民事・家事・企業法務・訴訟・調停

〒105-0003
 港区西新橋 1-20-3-607 [虎ノ門法曹ビル]
 TEL 03 (3519) 5312 FAX 03 (3519) 5313

快適なメガネをお造りする
 トウキョーメガネチェーン 中野店

北口 サンモール
メガネのマリコ

☎3387-1409 東京都中野区中野5-64-8

鞠子 潔 (53期)

煙草屋 **万富**
 MANTOMI

渡辺浩之(56期)

Cigar, Cigarette, Shag and Pipe tobacco etc.
 東京都中野区中野5-60-6(中野サンモール商店街内)
 TEL.03-3387-2927 FAX.03-3387-4927

実印・銀行印・社印・みとめ
 名刺・ハガキ・封筒・チラシ
 表彰状・感謝状・宛名書き
 カラー名刺・ハガキ・ポスター
 シャチハタ・ゴム印

山田章

〒165-0026 東京都中野区新井1-1-4
 (スーパー三徳の隣り・BOOKOFFの前)

TEL: 03-3387-1061 山田佳代子(51期)
 FAX: 03-3387-1051 奥村 梨恵(76期)
 E: mail: stamp2007@yamada-in.jp 加藤 拓郎(79期)
 URL: http://www.yamada-in.jp 加藤 大悟(82期)

配電設計・測量調査
株式会社 ユタカ

代表取締役 森本 広 (52期)

〒164-0001
 東京都中野区中野5-24-21 3F
 TEL 03-3385-3217

同窓生の皆様の会社、お店、事務所などの広告を1枠が5,000円で掲載させていただきます。お気軽にご相談ください。

桃

中野の健康を支えます
ライフ薬局

中野駅南口徒歩3分 TACのそば

今度 伸洋(34期)
 今度 有史(70期)

〒164-0001
 東京都中野区中野2-11-5 吉田ビル1F
 TEL: 03-3380-9393 FAX: 03-3380-9393